

広島平和記念都市建設法制定 70 周年

映像で振り返る広島の復興



映画「平和記念都市ひろしま」より

戦後間もない昭和 23 年から 24 年にかけて、広島市、広島県、広島商工会議所、中国新聞社等からなる広島建設委員会により制作されたものの、長く所在不明となっていた幻の映画「平和記念都市ひろしま」を中心に、広島復興の歩みを伝える映像を上映します。

映像文化ライブラリー上映会

日程：令和元（2019）年 8 月 10 日（土）

会場：広島市映像文化ライブラリー

「ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩くヒロシマ」
「平和記念都市ひろしま」復元ノーカット版

時間：①10:30 ～ 12:00 ②14:00 ～ 15:30

主催：広島市公文書館・広島市映像文化ライブラリー

平和記念資料館上映会

日程：令和元（2019）年 8 月 25 日（日）

会場：広島平和記念資料館 地下1階メモリアルホール

「平和記念都市ひろしま」復元ノーカット版

時間：①10:00 ～ 11:00 ②14:00 ～ 15:00

主催：広島市公文書館・広島平和記念資料館

★鑑賞料はいずれも無料です。冒頭に、戦前の広島の町並みなど市民が撮影した映像を上映します。

★広島市公文書館では、令和元年 8 月 5 日（月）～ 10 月 4 日（金）の間、公文書館 7 階ロビー及び閲覧室において、平和記念都市法制定とその後の復興に関する資料を紹介する展示会を開催します。あわせてご鑑賞ください。

好評販売中『広島市被爆 70 年史 ―あの日まで そして、あの日から 1945 年 8 月 6 日―』

被爆 70 周年記念事業として、明治 22（1889）年の市制施行から被爆・復興を経て現代にいたる本市の歴史を「都市と市民生活」をテーマにわかりやすくまとめました。被爆前後の広島の映像や被爆者の証言などを収録した DVD も付録。平成 30（2018）年 7 月発行。価格：3,900 円（税込）



問い合わせ先：広島市公文書館（中区大手町四丁目1番1号 大手町平和ビル）TEL（082）243-2583 FAX（082）542-8831
広島市映像文化ライブラリー（中区基町3番1号）TEL（082）223-3525 FAX（082）228-0312
広島平和記念資料館（中区中島町1番2号）TEL（082）241-4004 FAX（082）542-7941

映画「平和記念都市ひろしま」

「平和記念都市ひろしま」は、戦後間もない昭和 23～24 年（1948～1949 年）にかけて、広島建設委員会により製作されましたが、広島でも公開されないまま、長らく所在不明となっており、完成しなかったともいわれていました。

広島市は、この幻の映画フィルムが監督をつとめた秋元憲氏の元で保管され、その後川崎市市民ミュージアムに寄贈されていたことをつきとめ、フィルムの複製を作成しました。

「平和記念都市ひろしま」と、あわせて撮影された「産業の再建」には、にぎわいを取り戻しつつある街の様子や、復興計画、原爆孤児の施設、広島平和記念都市建設法の衆議院可決の場面など、占領下の広島の復興の歩みと市民生活が、徳川夢声のナレーションとともに鮮明に記録されています。

被爆 70 周年記念事業として昨年 7 月発行した『広島市被爆 70 年史 あの日まで そして、あの日から 1945 年 8 月 6 日』では、その製作過程を追ったドキュメンタリー番組を制作し、映像編として収録しています。その成果に基づき、残されていた当初のシナリオに沿って、未使用カットも使用して復元・製作したのが、このたび上映する復元ノーカット版です。

この復元ノーカット版は昨年 8 月に一度上映しましたが、今年が広島の復興に大きな役割を果たした広島平和記念都市建設法制定から 70 周年に当たることから、復興の歩みを伝える貴重な映像として、広島市映像文化ライブラリーと広島平和記念資料館で、再び上映することとしました。

広島市映像文化ライブラリーでは、被爆から 2 ヶ月後の広島を撮影したフィルムに撮影当時（平成 15～16 年（2003～2004 年））の映像とインタビューを交え、ヒロシマの記憶を立体的にたどる『ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩くヒロシマ』もあわせて上映します。



映画「平和記念都市ひろしま」より

また、いずれの会場でも、番組の冒頭に、広島市公文書館と広島平和記念資料館が所蔵する戦前の広島の街並などを撮影した映像を上映します。

なかなか見ることのできない復興の歩みを伝える映像をお届けする貴重な機会です。ぜひご来場ください。